

「里山と文化・伝統」分科会

「里山の景観とその保全」

日時 : 2006年4月30日(日) 午後1時~4時15分
場所 : 千葉県立中央博物館 講堂

趣旨：持続可能な社会の実現と里山保全に向けて、今回は、「里山の景観とその保全」にスポットライトを当てます。縄文的な暮らしから始まって、江戸、明治、そして現代までに変わってきたわたくしたちの暮らしを振り返り、景観に配慮したこれからの里地里山の保存と創出を文化・伝統と言う目線から考える良い機会でもあります。地域の文化資源や自然資源など、心が癒される空間をもっと知って、地域おこし等、広い視点からの新たな提案につながるような話し合いの場づくりから始めて行きたいと思えます

☆基調講演

「里山の景観とその保全－文化の表象としての景観」

原 慶太郎 (東京情報大学)

☆講演 1 「縄文時代のムラの分布変遷」

清藤一順 (千葉県立中央博物館自然誌・歴史研究部)

☆講演 2 「東京湾沿岸の中期拠点集落を支えた海と山」 1. 縄文時代

上守秀明 (千葉県立中央博物館自然誌・歴史研究部)

☆講演 3 「里山景観と神仏」

2. 弥生~中世

笹生 衛 (千葉県教育庁教育振興部文化財課)

☆講演 4 「里山を守る力の可能性－里山の未来を担う子どもとの関わりを通して－」

鳥立理子 (千葉県立中央博物館 房総の山フィールド
ミュージアム)

☆意見交換 コーディネーター 佐久間 豊

(千葉県教育庁教育振興部文化財課)

主催：里山シンポジウム実行委員会・ちば里山センター・千葉県緑化推進委員会
八千代市・千葉県

問合せ先：加藤 TEL(携帯)090-8568-1957 E-mail:kato-ken@jcom.home.ne.jp